

エジプト情報お届けします。

7月3日にグランドオープンを予定していた大エジプト博物館の延期に伴い、エジプト考古学博物館と大エジプト博物館（GEM）へ視察へ行き、エジプト考古学博物館内では、ツタンカーメン王の展示物がどのくらい残っているのか確認して参りました。その様子をご案内いたします。



エジプト考古学博物館



ツタンカーメン王の玉座



ミイラ作りの儀式に使われたアヌビス神



ツタンカーメンと等身大の番人像



内臓を収めるカノプス容器



ダチョウの羽で作られた扇子

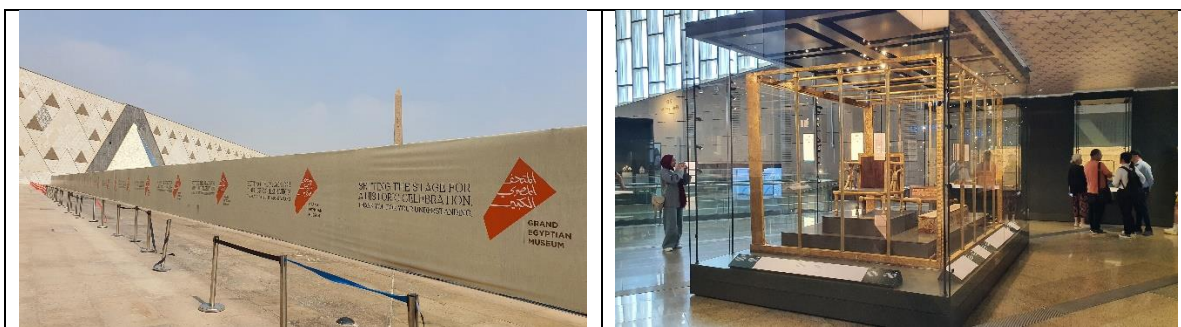
ツタンカーメンの上記5点の展示物以外、ツタンカーメン王の秘宝の部屋（写真不可）には、黄金のマスク、純金の棺、金箔の木棺の3点のみ展示されておりました。

ツタンカーメン王以外の展示物では、以前と同じく古・中・新王国時代の石造物やトーヤとユーヤのミイラ、副葬品。そして、タニスで発見された王様の副葬品などあります。（下記一部の写真）



GEM では、急に延期されたグランドオープンですが、既にステージの準備などが進められていたようでしたので、入り口手前にはステージなどを覆う幕が張られていました。

館内では、新たにクフ王の母、ヘテプヘレス王妃の副葬品が展示されていました。また、追加料金で VR ビデオによるピラミッドの作り方などを見ることができる部屋が設けられていました。(所要時間約 15 分)



2025 年第 4 四半期にグランドオープン予定となりますが、まだはっきりと日が決まっておりません。